

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 北海道教育大学附属釧路小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒085-0805
北海道釧路市桜ヶ岡 7 丁目 1 2 番 4 8 号

E-mail kus-fushokyo@k.hokkyoda.ac.jp

Website http://fusho.kus.hokkyodai.ac.jp

児童生徒数 男子 199 名 女子 192 名 合計 391 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☐ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☒ 食育
- ☐ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 地域の環境・素材に直接触れ、かかわる体験活動を重視した環境教育

小学校段階においては、体験活動が学びの土台・出発点となり、問題解決を促進し、知の総合化を確かなものにしていくことが多い。環境教育においても、児童の身近な問題から体験を通して学習していくことは、自分と環境問題との関係を考え、自分にできるところから環境保全に取り組んでいこうとする意欲や態度を育てるために有効である。また、社会の変化に伴う児童の自然体験などの減少の状況等を踏まえ、本校では、児童の多様な体験活動を充実させることを重視している。

② 子どもの活動を中心にした教科融合型の環境教育・食育プログラムの開発と実践

環境や食に関する問題は広範囲で多面的な問題であること、また、これらは、各教科等を通じた横断的・総合的な取組を必要とする課題であるということなどから、特別の教科等を設けることは行わず、各教科、道徳、特別活動等の特性に応じ、関連を図りながら学習を進めている。

【第1学年】



■ 附小の森（敷地内にある林）をフィールドとした四季を通じての自然体験

- ・ 原体験の拡大
- ・ 自然のすばらしさや生命の大切さの感得

【第4学年】



● 川の水の始まりを探す活動（下流から上流へ）

● 湧水の観察 ● ザリガニの観察

- ・ 環境に対する問題を見だし追究する態度
- ・ 自分たちの生活とのかかわりを意識

【第2学年】



- 自然散策（春） ・ クロエゾマツの植樹など
- 自然散策（秋） ・ キノコ探しなど

・ 自然環境や事象に対する感受性や興味・関心の向上

【第5学年】



● 川の観察 ・ 上流と下流の様子を比較 ・ 流れの速さを体感

- ・ 環境保全に対する意識の向上
- ・ 自然に対する畏敬の念

- ・多様な生物の存在を実感
- ・環境に進んでかかわろうとする態度

- (●印：(一財)前田一步園財団の所有地を活用しての活動 / ■印：学校での活動)

☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
☐ 時間外活動の時間を使用
☐ ユネスコクラブの活動として実施
☐ その他（